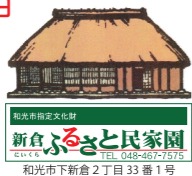


イベント箱

※印の付いた行事等はサポーター向けのものです。

2022 11 霜月	5 (土) ※ イベントチーム 会議 10:00 ~	7 (月) ※ 環境整備 チーム会議 13:30 ~	8 (火) ※ 情報活動 チーム会議 13:30 ~	9 (水) ※ 調整会議 10:00 ~ ※ 運営委員会 17:00 ~	16 (水) ※ 常勤者会議 13:30 ~																																										
文字通り霜が降る月という意の「霜降月(しもふりつき)」の略で「霜月」となりました。	13 (日) 市民まつり 出店 「伝統的季節・文化 行事の紹介と昔遊 び」で出店します。 来場の際は是非お 立ち寄りください。	20 (日) 秋の収穫祭 9:30 ~ 13:00 26名のイベントスタッフで賑やかに開催します。 新企画盛りだくさんです。 サポーターの皆さんのご来園、 お待ちしております。	20 (日) えびす様 尾頭付きの魚とお神酒、一 升樹にお金入れ飾ります。 15・29 (火) 荒神様 火難除けの神様に、小豆 粥と団子をお供えします。																																												
<table border="1"> <tr><th>日</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>■ は、休園日</p>	日	月	火	水	木	金	土		1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
日	月	火	水	木	金	土																																									
	1	2	3	4	5																																										
6	7	8	9	10	11	12																																									
13	14	15	16	17	18	19																																									
20	21	22	23	24	25	26																																									
27	28	29	30																																												
	サポーター研修 昔遊び 13:00 ~ 15:00 12 (土)	昔遊び体験教室 13:30 ~ 16:00 26 (土)	わた工房 10:00 ~ 11:30 サポーター講習会含む ※4, 11, ※18(金)	わら工房 10:00 ~ 11:30 サポーター講習会含む 3, 17 (木)																																											

秋の収穫祭

11月20日(日)
9:30 ~ 13:00

3年ぶりの実施に向けて、26名のイベントスタッフが、新企画盛りだくさんで賑やかに開催します。

■内容

- 体験コーナー：足踏み脱穀機、唐箕、箕**
足踏み脱穀機で稲の穂を当てて脱穀し、唐箕で軽いもみ殻と分別します。
- 展示コーナー：昔の農機具の展示・紹介**
農機具と映える写真を撮りましょう。
- 伝統芸能披露：白子囃子**
お囃子演奏に面踊り披露、そして板太鼓体験もできます。
- ベーゴマ大会**
民家園 15周年記念ベーゴマで技を競い合います。
- その他**
工作コーナーでは竹笛作りをやります。民家園の畑で採れたさつまいもの販売、毎回好評の季節の野菜販売もあります。



11/26
(土)

雨天顺延
9:00am ~

本年最後の

クリーンデー

にご協力を

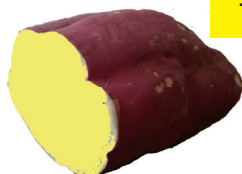
● 一般のサポーターの方も、帽子、長袖上着、手袋持参で汚れてもいい服装でご参加ください。



各イベント参加申込み用QRコード

子どもさつま芋掘り体験 ① 9:30 から ② 11:00 から

対象：3歳児から小学生以下（保護者は1名） 定員：各回40名
申込み：メールで11月1日～5日に保護者氏名・住所・電話番号・参加子ども数・希望回（1回目か2回目）を記入のこと。



「プラスチックごみ問題」から 昔の生活を見直そう

会長 星野裕司

今号も身近なプラスチックごみから、SDGs とつながる世界を考えてみたいと思います。私たちの生活に欠かすことのできないプラスチックですが、その不適正な処理が海の生物に被害を及ぼしていることを知っていますか。

私たちが普段よく目にする「プラスチック」の多くは、石油を原料とし、合成樹脂とも呼ばれます。プラスチックが社会生活にここまで普及するようになったのは、大量生産が進んだ1950年代からとされていますが、その特色は、①可塑性・形成性（熱などに反応し自由に形を形成できる）②軽量性 ③自然分解されないなどです。こうした特性から、家庭用品、電化製品、医療用品などさまざまな製品に使用されるようになり、今では、私たちの生活に欠かせない物となっています。しかし、その一方で自然環境では細かくはなるものの分解されないため、長く自然界に残り続ける物もあるといわれ、それはつまり環境へ影響を及ぼすことを意味しています。

こうした大量のプラスチックごみの問題は大きく、海洋生物に絡まったり、生物が摂取したりすることによる影響、プラスチックに含有されている有害物質が溶出すること、マイクロプラスチックに有害物質が付着し運ばれることによる人の健康への影響が考えられます。こうした影響を回避するためには、可能な限りプラスチックが海に流出されること

を防ぐ必要がありま

す。2020年のレジ袋有料化をきっかけに、店頭でレジ袋を断るなど、ライフスタイルの変革を促す動きが始まっています。環境省のキャンペーンで「1週間、レジ袋をつかわない人を6割にすること」を目標に掲げていましたが、2020年11月末時点で71.9%と目標を達成しましたが、残り28%がまだまだ大きな課題となっています。

エコ活動の風呂敷

そこで古くから使われてきた日本の風呂敷が、“エコ活動”に大きく貢献する存在となっています。エコバッグが当たり前になってきた昨今ですが、さらに風呂敷をエコバッグとして使用するというアイデアも浮上し、実際そのような使い方を行っている人が多いといえます。私の父が子どもの頃、昭和の初期には着物、本、酒、陶器など何でも風呂敷に包んで持ち運んでいたといえます。古くから伝わる風呂敷は時代を超えた今、サステナブルなものとして環境問題解決の一助になれるものだと思います。

今こそ昔の生活の良いところを見直していきたいものです。

たくあん漬け 体験申込み

■ 12月3日/大根収穫・洗い・干し ■ 12月17日/大根漬けこみ ■ 1月14日/樽開け
(いずれも土曜日、10:00から) ○資格/3回すべてに参加できる人 ○費用/500円 ○定員/10名 ○申込み/11月13日(日)から22日(火)にメールで氏名・住所・電話番号を。



10月の行事報告

新倉の十三夜



10/13(木) 新倉の十三夜

ゲンカンにススキ3本と団子、それに秋の収穫野菜と月見豆腐を供えました。



吊るし飾り教室成果品

10/15(土) 吊るし飾り教室Ⅱ

2回目の今回は13名が参加し、1回目につき「桃太郎」作りでしたが、なかなかの苦戦でした。

10/8(土)

新倉児童館まつりに参加

今年も新倉児童館まつりに参加し、星野会長、今村副会長、田中茂さんが昔遊びの指導を行い、子ども達は大喜びでした。



新倉児童館まつりで昔遊びを指導

10/23(日)

南公民館事業

新倉ふるさと 民家園体験講座

親子5組16人が参加して2班に分かれ綿づくり、石臼、手桶で水汲み、コマ、けん玉などを体験しました。講座終了後も、綿くりや昔遊びに夢中になって練習していました。



南公民館の新倉ふるさと民家園体験講座

民家園の達人紹介

第8回



(環境整備グループメンバー)

今月は 田中茂さん

縄ないの技術は若手No1

私は、和光市で生まれ育って70年が経ちました。生家の周辺環境も変化し、当時は畑、豚舎、水路が隣接していました。肥溜めの肥料が撒かれた畑や、豚の鳴声とともに餌と糞が混ざった匂いのする町、このような懐かしい風情のある生活環境で育ちました。

時代とともに、高速道路が南北に通過し、有楽町線が始発駅となってからは、駅前の人参畑がビ

ルに変わり、街づくりが進んできました。

今は、特に趣味はありませんが、20～30歳代はバスケットボールやラグビーで汗をかき、観戦するより体を動かす方が好きでした。定年退職後は、神社仏閣・城・温泉など、御朱印帳を持ち仲間を誘って楽しんでおります。

民家園には3年前に友人に誘われ、庭木の剪定作業をしたことがきっかけで、サポーターに仲間入りさせていただきました。

主屋を掃除する時に、子どもの頃の本家を思い出して、土間の囲炉裏の鉄鍋で水餅を焼いてくれた祖母、縁台で将棋相手をしてくれた祖父を、懐かしく思い出します。さらに、市の歴史や文化などを伝承する大切さを、サポーターとなって改めて実感しております。また、サポーターの皆様と和気あいあいと仕事し、談笑しながら情報交換する時間がとても楽しく感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

私の集団疎開と戦争体験 その1

何故に無くならない戦争 昨今の戦争報道に胸痛む

サポーター 別所瀧光さん

最近のロシアとウクライナの戦争報道から、昔の日本が第二次世界大戦で、悲しく、そして辛い経験をしていたことが思い出されます。320年以上の築年数を持つ旧富岡家住宅も、昭和19年頃から内陸戦となった当時の日本の戦争を見てきたことでしょう。

今号からサポーター最高齢の別所さんから御自身の戦争体験について語っていただきます。(星野)

あと10年早く生まれていたら私の人生はどのように変わっていたのでしょうか？

20数年前、訪れた広島・長崎の原爆資料館で陰鬱になり、南九州市の知覧での特攻に向かう青年たちが書き残した、母や恋人に宛てた手紙文に涙したことがしばしば思い出されます。

苦しみもがく体験をしながら、何故にこの世から「戦争」が無くならないのでしょうか。最近の新聞やテレビのニュースにおける戦争報道に、心を痛め



る毎日です。しかし、今から遡る事70数年前、この日本でも大変な戦争が起きていました。

私は、昭和19年3月末、東京都新宿区山吹町から「集団疎開」のため、栃木県芳賀郡須藤村(現在茂木町)の山すそに建つ、古寺「昌泉寺」に疎開していた経験があります。その後、私が小学校3年生の時、昭和20年5月、孤児にさせたくないという親心から、疎開先から一足先きに引き取られ、当時二重生活となっていた、板橋区大谷口町2丁目の家に帰宅しました。ここには、小学4年生から中学卒業まで居住し、その後、新宿区に戻りました。

疎開先の「昌泉寺」は、茂木バイパス(国道294号)から約200m入り込んだ山の中腹に建つ古寺で、当時はいかにも荒れ寺といった印象でした。周辺の傾斜地は、杉木立に覆われその間に墓地が点在しているといった環境でした。私たちは本堂の空いているスペースで寝泊まりしたのですが、厳寒の冬でも破れ障子1枚の仕切りで過ごし、回り廊下の雨戸は1回も閉められたことはありませんでした。

(次号へ続く)

運営委員会報告

開催日時 令和4年10月5日(水)午後5時から
開催場所 管理棟

*報告事項 市より

①放水銃のバッテリー交換と不具合が見つかった炎探知機については、12月の補正予算に計上し早急に修繕する

②経年劣化による修繕箇所については優先順位をつけて5年度予算に計上する

(・南側スロープの土留め・正門の劣化・ドマ三和土の修理・樹木の間引き等)

③小学校社会科見学 第三小学校12月13日に決定

*協議事項 →承認

①常勤サポーター運用規程の改正について

②「稲刈り」10月31日(月)、「かまどでご飯」

12月10日(土)、「寒の餅つき」1月18日(水)

をサポーター研修として実施する。「寒の餅つき」はサポーターの家族参加も可

*イベントチームリーダーより「市民まつり」「秋の収穫祭」の実施内容と担当スタッフ

(案)の説明がありました承認

※詳しくは、民家園ホームページをご覧ください。

